

Panasonic

アクティブディスプレイ
CDサウンドステーション

取扱説明書



品番

CQ-DFX572D



MP3

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT

保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特長

CD/MP3プレーヤー・FM/AMチューナー・CD/MDチェンジャーコントロール機能、
高音質50W x 4chパワーアンプを搭載

CD-R/RWディスク対応¹

「CD-R/RWディスクのご使用について」(P.32ページ)をよくお読みください。

MP3対応

本機でMP3ファイルを再生できるメディアは、CD (音楽用のCD-ROM、CD-R、CD-RWディスク) です。
「MP3ファイル作成時の留意点」(P.21ページ)をよくお読みください。

タイトル表示機能、タイトルスクロール機能²

MP3フォルダ名/ファイル名を最大31文字、CDテキスト(ディスク名/トラック名)、MDディスク名/
トラック名(MDチェンジャー使用時)を最大62文字までスクロール表示できます。

付属リモコンによる、ダイレクト選択機能

10キーで番号を入力し、曲(CD)・フォルダ(MP3)・ディスク(チェンジャー)を選ぶ
ことができます。

取りはずしのできる、デタッチャブルフェイスを採用(P.30ページ)

車から離れるときにパネルを取りはずせるので、ユニットの盗難を防ぐことができます。

システムアップ用端子を装備

CD/MDチェンジャーコントロール機能(P.22、42ページ)

ツインチェンジャーコントロールユニットを接続すれば、最大2台まで同時接続できます。

外部音声入力(AUX-IN)付き(P.41、43ページ)

テレビのステレオ音声等をオーディオで聞くことができます。

外部アンプと接続できるプリアウト付き(P.41ページ)

お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。(2002年3月現在)

CDチェンジャー：CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205

MDチェンジャー：CX-MD6D

¹ CDチェンジャーは、CD-RWには対応していません。CD-Rには対応していますが、ディスクによっては正常
に再生できない場合もあります。

² CDチェンジャーは、タイトル(テキスト情報)を表示できません。

もくじ

ご使用前に

特長	2
安全にお使いいただくために	4
使用上のお願い	8
付属品・添付品の確認と準備	9
各部のなまえとはたらき	10

使う

電源を入れる・基本操作	12	
電源を入れる/切る	音源(ソース)を選ぶ	音量を調整する(ボリューム)
一時的に音量を下げる(ミュート/アッテネータ)	表示を切り替える	時間を調整する
ラジオを聞く	14	
CDを聞く	16	
MP3を聞く	18	
チェンジャーでCD/MDを聞く	22	

使いこなす

いろいろな設定と調整	24
音質調整(AUDIO)	24
画面設定(PICTURE)	26
機能設定(FUNCTION)	28
パネルの脱着のしかた	30

必要な ときに

ディスクの取り扱いについて	32
お手入れのしかた	33
故障かな!?	34
配線・取り付けの前に	38
取り付けかた	39
配線のしかた	40
仕様	44
アフターサービスについて	45

ご使用前に

使いかた


必要なときに


安全にお使いいただくために

必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。


 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告


運転者は走行中に操作をしない
また、画像・表示を注視しない

 **禁止** 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。


取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない

 **禁止** 保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。
説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC 12 V \ominus アース車で使用する


 **!** 本機はDC 12 V \ominus アース車専用です。DC 24 V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、
バッテリーの \ominus 端子を必ずはずす


 **!** バッテリーの \ominus 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

警告


故障や異常のまま使用しない

 **禁止** 万一、故障(画像が映らない・音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。
そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。


必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

 **!** 規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。


コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないよう引き回す

 **!** ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。


指定に従って設置・配線する

 **!** 説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。


分解・修理、および改造をしない

 **分解禁止** 分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。


電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

 **!** 事故の原因になります。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。


エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない

 **禁止** エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

リモコンを放置しない

 **禁止** 運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

MP3ファイル以外のファイルに、
拡張子「.MP3」を絶対に付けない

 **禁止** MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て、耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

機器内部に異物を入れない



内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない



手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に乳幼児にご注意ください。

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない



ハート型や八角形など特殊形状のCDや、プロテクトフィルム・スタビライザーなどのCDアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCDは使用しない



本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

⚠ 注意

コードを破損しない



断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部(シートレールなど)への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

電池は正しく扱う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。指定の電池以外は使用しない。
⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。
使いきった電池は、すぐに交換する。
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。(ビニール袋に入れる、テープなどを巻く)
著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。(窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど)

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

使用上のお願い

他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音を生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該商品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象になりません。

付属品・添付品の確認と準備

付属品

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、38ページをご覧ください。



リモコン



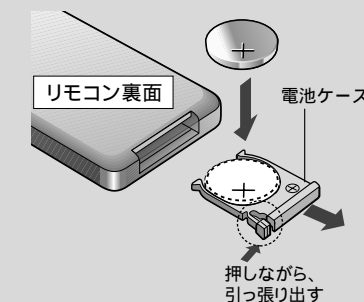
パナソニック
リチウム電池
(CR2025) (1個)

添付品

- 取扱説明書
- 保証書
- お客様ご相談窓口一覧表

リモコンに電池を入れる

- 1 電池ケースを出して、電池をのせる
⊕⊖の向きを、電池ケースの表示に合わせてください。



- 2 電池ケースを入れる
奥まで挿し込んでください。

電池について

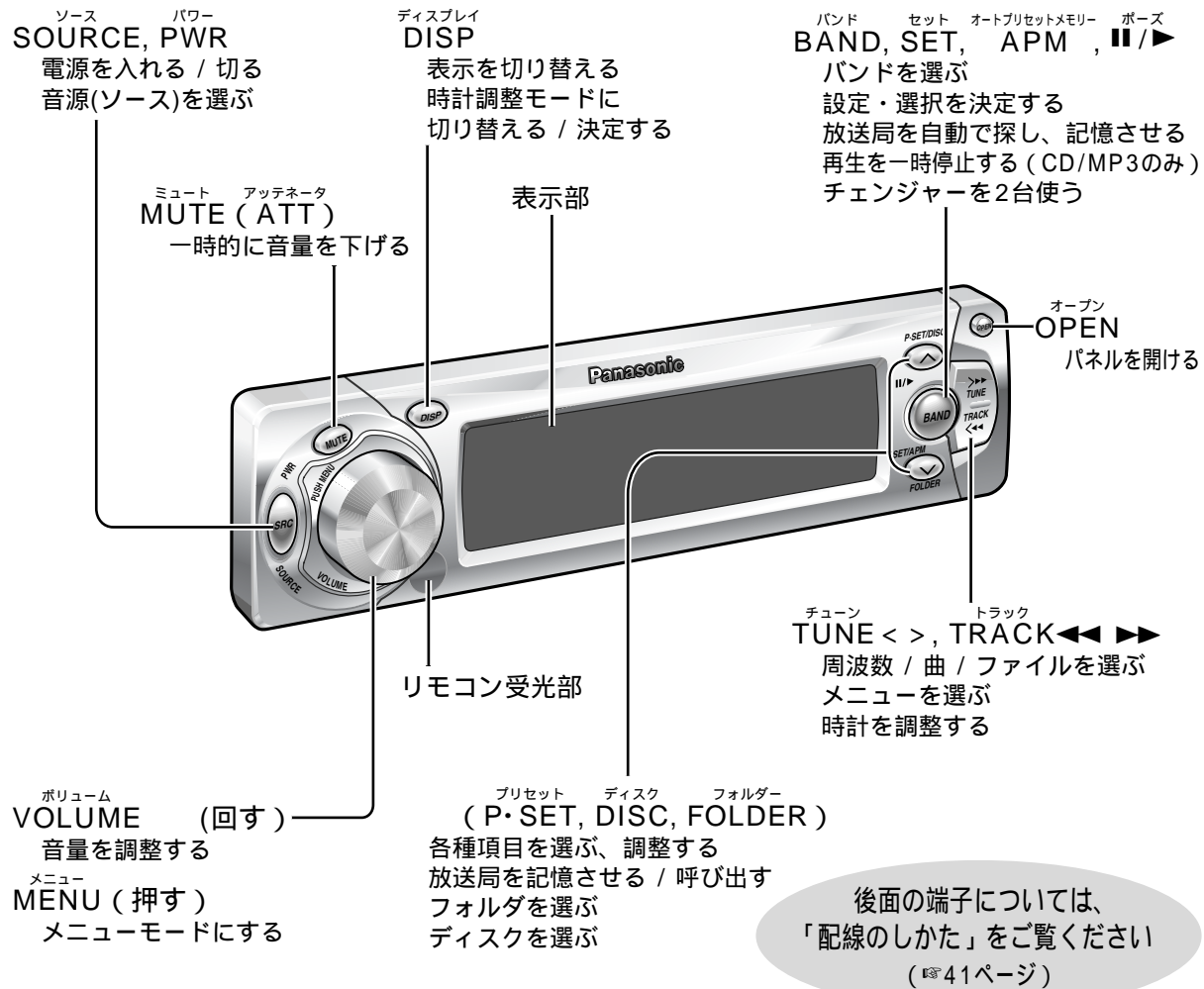
使用電池
パナソニック リチウム電池 (CR2025)
電池寿命
通常の使用状態 (常温時) で約6ヶ月

取り扱いの注意書き(7ページ)をよくお読みください。

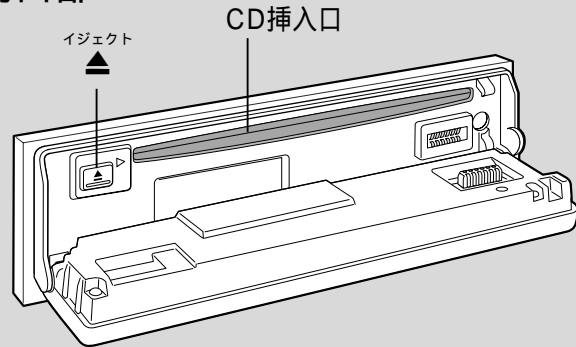
ご使用前に

各部のなまえとはたらき

本体

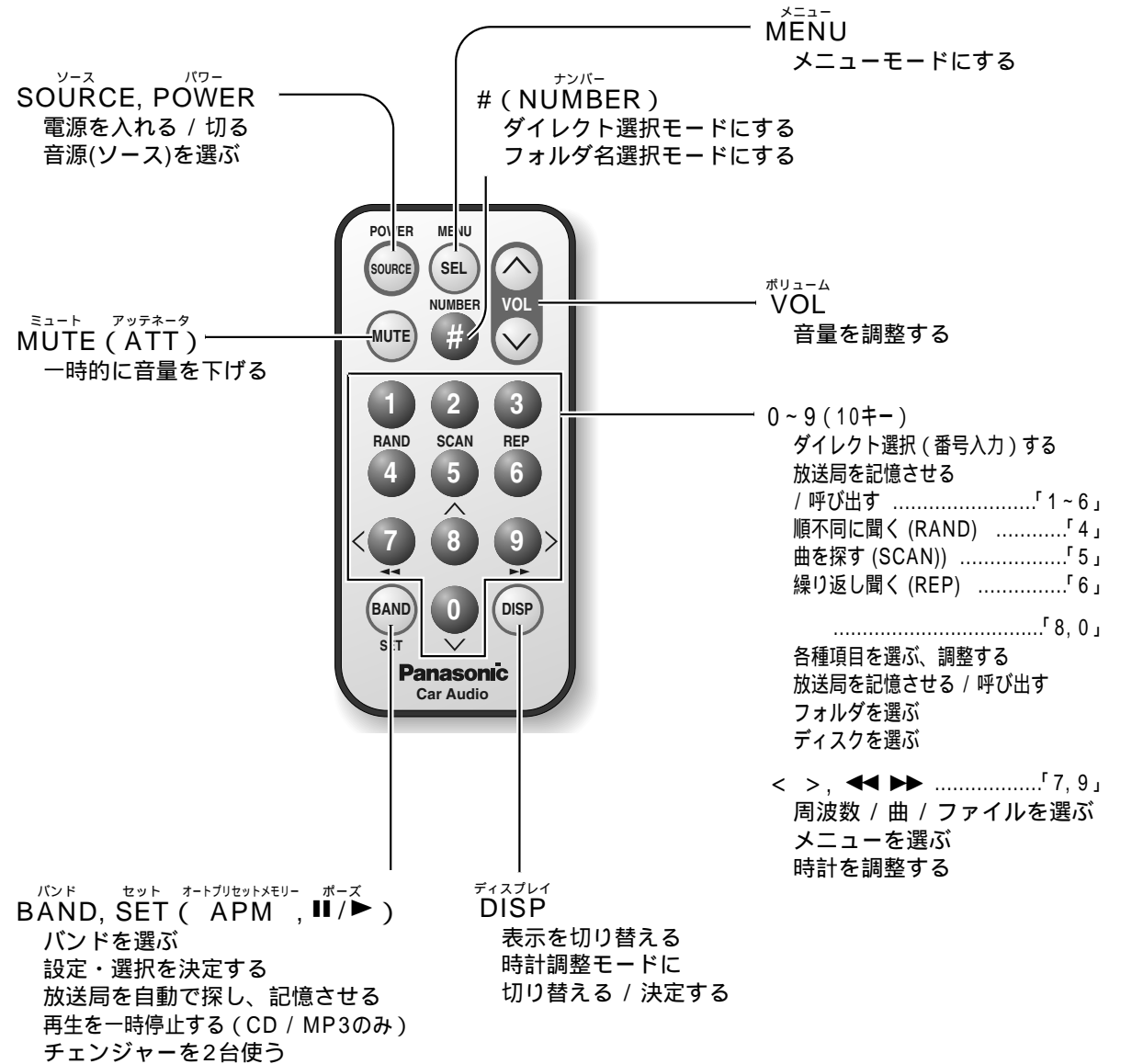


本体のパネル開口部



リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。



電源を入れる・基本操作

準備 車のエンジンをかける
(「ACC」の位置でも可)



はじめてご使用になるときは
デモンストレーションが表示されます。
解除してから使用してください。

[DISP] を押して、表示を切り替える

電源を入れる/切る

[SRC] を押して、切り替える
ON(入) : 押す
OFF(切) : 1秒以上押す

お知らせ

ACC(車のアクセサリ電源)をOFFにすると、セキュリティメッセージが表示され、パネル取り忘れ防止アラームが鳴ります。(セキュリティ設定がONの場合※28ページ)

音量を調整する

(ボリューム)



を回す



初期設定 : 20
調整範囲 : 0 ~ 40

モードごと(ラジオはAM、FMごと)に記憶されるので、モードを切り替えると音量も変わります。(インテリジェントボリューム)

一時的に音量を下げる

(ミュート/アッテネータ)

[MUTE] を押す
(解除 : 再度押す)

音量の下がりがたは、機能設定によって異なります。
初期設定 : MUTE(ミュート/アッテネータ設定※28ページ)

ミュート
MUTE
音量が0になる(消音)



点灯

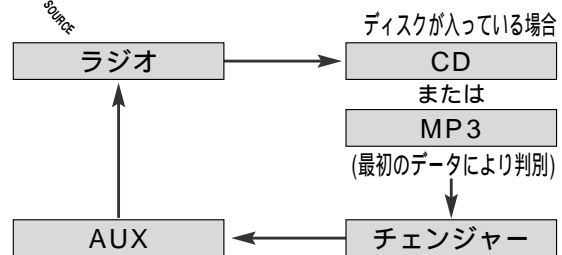
アッテネータ
ATT
音量が10ステップ下がる



点灯

音源(ソース)を選ぶ

[SRC] を押して、切り替える



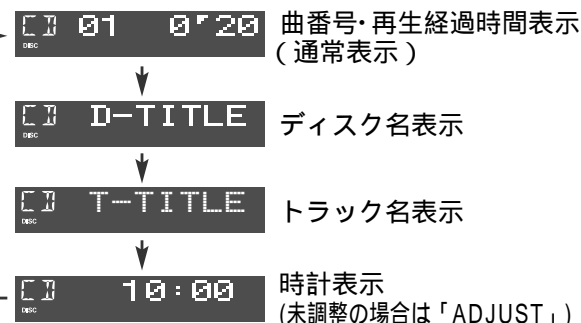
お知らせ

テレビなどの外部機器を使用する場合は、外部音声入力コード(AUX-IN)に接続してください。(※41ページ)

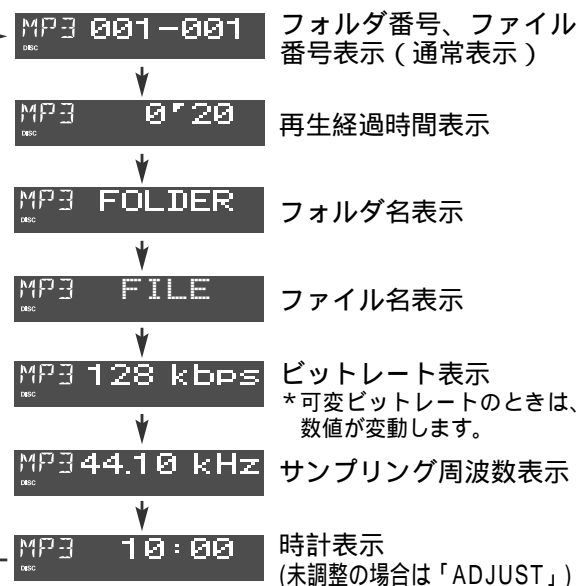
表示を切り替える

[DISP] を押す

例) 音楽CDの場合



例) MP3の場合



お知らせ

電源が切れている場合にも、時計を表示させることができます。**[DISP]** を押す
通常表示は、ソースによって異なります。
CDチェンジャーは、タイトルを表示できません。
1つのソースで時計表示に切り替えると、他のソースも時計表示になります。(電源OFF時以外)

CDは、CDテキスト(ディスクに記録されているタイトル情報)を表示させることができます。
右のマークがついたディスクなど



時計を調整する

1 **[DISP]** を2秒以上押して、
時計調整モードにする



2 **[TUNE]** を押して、
時間を調整する



3 **[DISP]** を押して、
分を選び、



4 **[TUNE]** を押して、
分を調整する



5 **[DISP]** を押して、
時刻を決定する
通常モードに戻り、時計が動き始めます。



お知らせ

時計は24時間表示です。
電源が切れているときは、調整できません。
タイトルを表示しているときは、調整できません。

使
い
か
た

ラジオを聞く

1 SRC を押して、ラジオモードにする

2 BAND を押して、バンドを選び

3 TUNE を押して、放送局を選ぶ

自動選局(シーク)するには
0.5秒以上押し続ける
はなした時点から選局を始め、受信すると止まります。

バンド
周波数
プリセット番号

FMステレオ放送を受信したときに表示

お知らせ

ラジオ / AUXモードにはモード設定のメニューがありません。以下のように表示されますが、音質調整・画面設定・機能設定は行えます。

FM1 EMPTY

通常モードに戻すには

または DISP を押す

放送局を記憶させるには

各バンド (FM1、FM2、AM1、AM2) ごとに、放送局を最大6局まで記憶させることができます。

一つずつ記憶させる
(プリセットメモリ)

① バンドと周波数を選ぶ (左ページ)

② P-SET/DISC を2秒以上押して書き込みモードにする

③ P-SET/DISC を押してプリセット番号を選ぶ

④ P-SET/DISC を2秒以上押して記憶させる
表示が1回点滅し、受信している放送局が記憶されます。

お知らせ

選局は、プリセット番号を選んだあとでも可能です。途中でやめるには DISP を押す

プリセット番号1に記憶させた場合

FM IP-1 82.5

リモコンの場合は...

バンドと周波数を選んだあとに

1 ~ 6 を2秒以上押して、記憶させることもできます。
(プリセットボタン)

受信状態のよい順に記憶させる
(オートプリセットメモリ)

バンドを選び、(左ページ)

BAND を2秒以上押す

SET/APM

受信状態のよい放送局が、プリセット番号1から順に記憶されます。

終了すると...

記憶された放送局が約5秒ずつスキャンされます。

スキャン中 (例)

FM IP-1 82.5

P-SET/DISC

を押し、放送局を選んでください。

(リモコンの場合は 1 ~ 6 を押しても選ぶことができます。)

お知らせ

記憶された放送局は、操作をするたびに上書きして更新されます。

放送局を呼び出す
(プリセット呼び出し)

バンドを選び、(左ページ)

P-SET/DISC

を押す

リモコンの場合は...

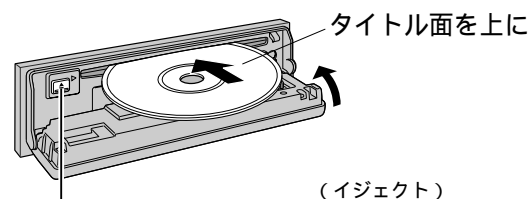
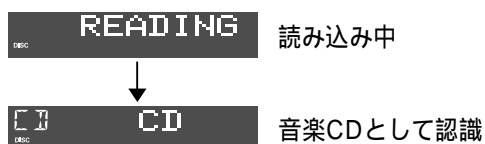
1 ~ 6 を押して、選ぶこともできます。
(プリセットボタン)

CDを聞く

CD-R/RWを再生する場合は、ディスクの最初にあるデータがCD-DAであれば音楽CD、MP3ファイルであればMP3として認識します。CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合は、どちらか一方だけが再生されます。

CDを入れる

- 1 本体の **OPEN** を押してパネルを開き、
- 2 CDを入れて、パネルを閉める
ディスクのデータを識別し、再生が始まります。
(識別に時間がかかる場合があります。)

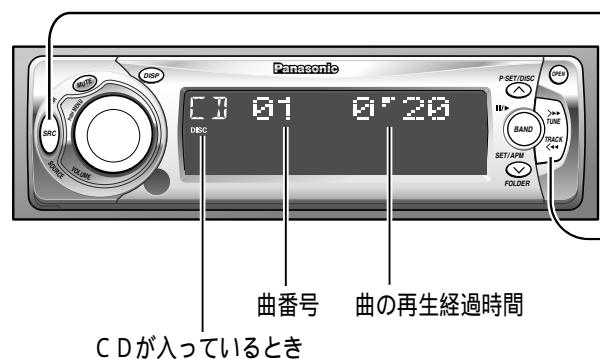


CDを取り出すには、本体の **(イジェクト)** を押す
CDが出てくる動作が完全に止まってから引き抜いてください。

お願い

ディスクが入っていないことを確かめてから、入れてください。
シングルアダプターは使用しないでください。
(8cm CD はアダプターなしで再生できます。)
再生中は、必ずパネルを開けてください。

CDが入っているときは...



1 **SRC** を押して、**CDモードにする**

2 **TUNE** を押して、**曲を選ぶ**

早送り/早戻しするには
0.5秒以上押し続ける
押し続けている間、早送り/早戻しされます。

「ディスクの取り扱いについて」(P.32ページ)をよくお読みください。

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない
シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCD
(特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RW)は使用しない

再生を一時停止させるには

(ポーズ)
1 **BAND** を押す **PAUSE**
(解除：再度押す)

お知らせ

電源が切れているときにCDを入れると、電源が入り、再生が始まります。
CDモード中にCDを取り出すと、電源が切れます。
CD-R/RWを再生する場合は、使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

CDのモード設定

- 1 CD再生中に **MODE** を押す
- 2 **UP** / **DOWN** で項目を選び、**BAND (セット)** で決定する
- 3 **UP** / **DOWN** で切り替える

順不同に聞く (ランダム)	RANDOM	ON OFF
繰り返し聞く (リピート)	REPEAT	ON OFF
タイトルをスクロールさせる	SCROLL	ON : スクロールする OFF : 1周スクロールしたあと、静止する 再度スクロールさせるには... タイトル表示中に DISP を2秒以上押す

タイトル表示について

タイトル(テキスト)情報は、カナ・英数字で表示されます。
スクロール時で最大全角31文字/半角62文字表示できます。
表示できない文字は「*」で表示されます。

CDは、CDテキスト(ディスクに記録されているタイトル情報)を表示させることができます。

左のマークがついたディスクなど



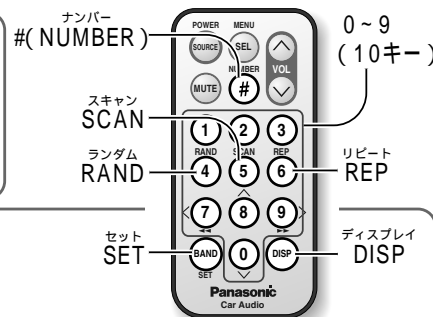
リモコンのみの操作

曲を探す
(スキャン)
約10秒ずつ再生する

5 **SCAN** を押す (解除：再度押す)
1周すると解除され、もとの曲の先頭に戻ります。

曲番号で曲を選ぶ
(ダイレクト選択)

1 **#** を押す
ダイレクト選択モードになります。
2 10キーで曲番号を入力する
例) 曲番号10 : **1** **0** を押す
3 **BAND (セット)** を押して決定する
選んだ曲の再生が始まります。



お知らせ

途中で通常モードに戻すには
DISP または **#** を押す
ダイレクト選択モードにすると、ランダム・リピート・スキャンは解除されます。

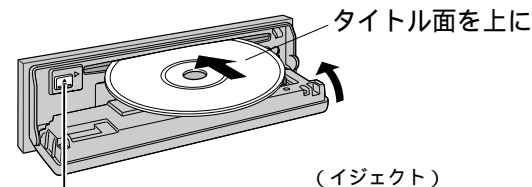
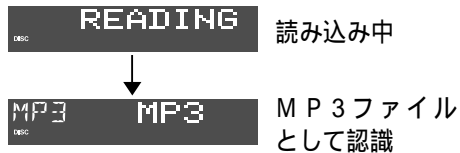
使いかた

MP3を聞く

ディスクの最初にあるデータがCD-DAであれば音楽CD、MP3ファイルであればMP3として認識します。CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合は、どちらか一方だけが再生されます。

CDを入れる

- ① 本体の **OPEN** を押してパネルを開き、
- ② CDを入れて、パネルを閉める
ディスクのデータを識別し、再生が始まります。
(全てのファイルをチェックするため、フォルダ数・ファイル数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。)

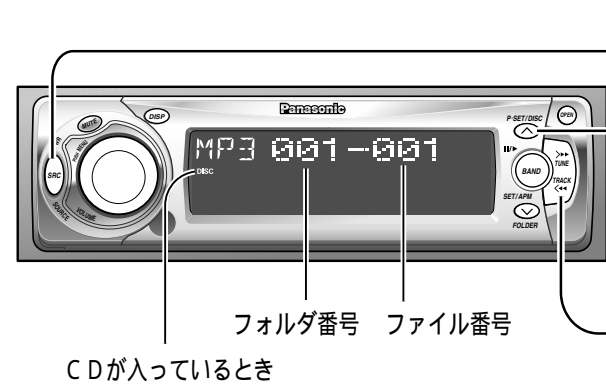


(イジェクト)
CDを取り出すには、本体の **EJECT** を押す
CDが出てくる動作が完全に止まってから引き抜いてください。

お願い

ディスクが入っていないことを確かめてから、入れてください。
シングルアダプターは使用しないでください。
(8cm CD はアダプターなしで再生できます。)
再生中は、必ずパネルを開けてください。

CDが入っているときは...



- ① **SRC** を押して、MP3モードにする
- ② **FOLDER** を押して、フォルダを選び
- ③ **TUNE TRACK** を押して、ファイル(曲)を選ぶ

早送り/早戻しするには

0.5秒以上押し続ける
押ししている間、早送り/早戻しされます。
(可変ビットレート、またはバージョン2以降のID3 Tag情報を含むファイルは、再生経過時間の表示が実際とずれる場合がありますが、他のファイルを再生すると正常に戻ります。)

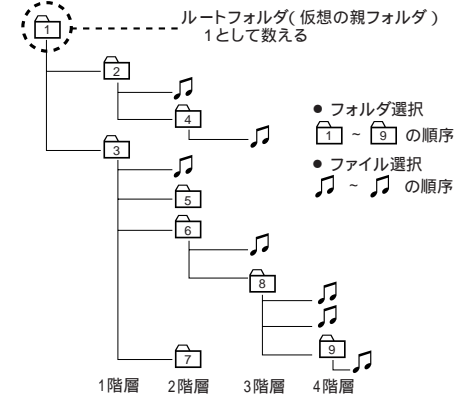
(ポーズ) 再生を一時停止させるには

BAND を押す
(解除：再度押す)

お知らせ

電源が切れているときにCDを入れると、電源が入り、再生が始まります。
MP3モード中にCDを取り出すと、電源が切れます。
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

階層と再生順序のイメージ (例)



お知らせ

本機では、フォルダの中にMP3ファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。

ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、お望みの再生順序にならない場合があります。

再生の順序は、同一のCDでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。

MP3のモード設定

- ① MP3再生中に **DISC** を押す
- ② **UP** **DOWN** で項目を選び、**BAND** (セット) で決定する
- ③ **UP** **DOWN** で切り替える

順不同に聞く (ランダム)	全ての曲	RANDOM	ON / OFF
	再生中のフォルダ	F-RANDOM	ON / OFF
繰り返し聞く (リピート)	再生中の曲	REPEAT	ON / OFF
	再生中のフォルダ	F-REPEAT	ON / OFF
フォルダ名、ファイル名をスクロールさせる		SCROLL	ON : スクロールする OFF : 1周スクロールしたあと、静止する 再度スクロールさせるには... タイトル表示中に DISP を2秒以上押す

お知らせ

通常モードに戻すには

DISC または **DISP** を押す

設定以外の操作は、通常モードに戻してから行ってください。

リモコンダイレクト設定

ランダム・リピートは、リモコンのボタン一つでも操作できます。
通常モードに戻してから行ってください。

RAND **REP**
4 / 6 を押す

(解除：再度押す)

2秒以上押すと、フォルダのランダム・リピートになります。

(解除：再度2秒以上押す)

「ディスクの取り扱いについて」(P.32ページ)をよくお読みください。
特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない
シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCD (特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RW) は使用しない

「MP3ファイル作成時の留意点」(P.21ページ)をよくお読みください。



フォルダ名、ファイル名表示について

1階層目の(ルートフォルダの中にある)ファイルを再生しているときは、フォルダ名に「ROOT」と表示されます。
表示できる文字種・文字数については、ファイルシステム対応表をよくお読みください。(P.21ページ)

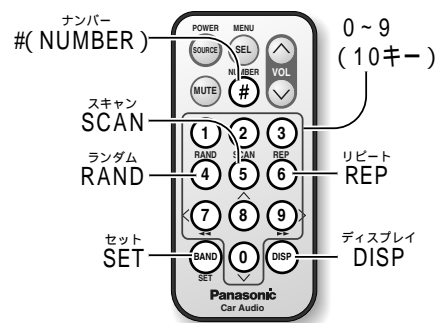
リモコンのみの操作

曲を探す (スキャン) 約10秒ずつ 再生する	ディスク内 全ての曲	5 を押す (解除: 再度押す) 1周すると解除され、もとの曲の先頭に戻ります。
	各フォルダ の1曲目	5 を2秒以上押す (解除: 再度2秒以上押す) 1周すると解除され、もとのフォルダの先頭に戻ります。

お知らせ
再生順序と同じ順序でスキャンします。(P.19ページ)

フォルダをスピーディに選ぶ	フォルダ 番号	1 # を押す ダイレクト選択モードになります。 2 10キーでフォルダ番号を入力する 例) フォルダ番号5: 5 を押す  (セット) 3 BAND を押して決定する 選んだフォルダの最初のファイル(1曲目)から再生が始まります。
	フォルダ 名	1 # を2秒以上押す フォルダ名選択モードになります。 2 8 0 を押してフォルダを選択する  (セット) 3 BAND を押して決定する 選んだフォルダの最初のファイル(1曲目)から再生が始まります。

お知らせ
途中で通常モードに戻すには
DISP または **#** を押す
ダイレクト選択モードにすると、ランダム・リピート・スキャンは解除されます。
選んだフォルダにMP3ファイルがない場合は、「E4」と表示されます。
MP3ファイルがあるフォルダを選んでください。



MP3ファイル作成時の留意点

MP3 (エムピースリー) とは
MPEG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3 LSF (Low Sampling Frequency) の略称。MPEGはビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。MP3は、MPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで、人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより、音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。
約10分の1に圧縮できるので、音楽CD約10枚分の音楽データをCD-R/RW1枚に書き込めます。(ビットレート128 kbps、サンプリング周波数 44.1 kHz で、容量 650 MB のCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその数値)

音楽データをMP3ファイルにエンコード(変換)するときは
ビットレートは「128 kbps以上」の「固定」に設定してください。推奨
「MPEG-2のビットレート8 kbps」、「MPEG-2のサンプリング周波数16 kHz」で記録されたファイルは、再生できません。
可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。
再生時の音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートなどの設定によって異なります。
詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。

ディスクにMP3ファイルを書き込むときは
MP3以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないようにしてください。
多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
本機が対応しているファイルシステムで書き込んでください。(P.19参照)
APPLE HFS フォーマットには対応していません。規格に準拠していない場合には、正常に再生されなかったり、フォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
MP3ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。
MP3以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合は、ファイルを再生できません。(拡張子は表示されません)
「Disc at Once (ディスクアットワンス)」で書き込むことをお奨めします。(マルチセッションにも対応しています。)
データを書き込んだディスクは、必ずクローズセッションしてください。
パッケージソフトには対応していません。
プレイリスト機能には対応していません。ファイル名の頭に「01」～「99」などを入力することで、順番を設定できるライティングソフトもあります。
ID3Tag (アイディースリータグ) 機能には対応していません。各種情報などが記録されていても表示できません。また、バージョン2以降のファイルを再生すると、再生経過時間の表示が不安定になることがあります。
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

ファイルシステム対応表

ファイルシステム	本機の表示について
ISO 9660 レベル1	フォルダ名、ファイル名の入力には英 / 数 / カナをご使用ください。<推奨> スクロール時で最大31文字まで表示できます。ファイルシステムによって文字数の制限などがあります。詳しくはライティングソフトの説明をよくお読みください。 ひらがなは、カタカナに変換して表示されます。
ISO 9660 レベル2	
Joliet*	漢字 / 一部の記号や文字 (言語) など、正しく表示できない文字は「*」で表示されます。
Romeo	*「Joliet」は、半角の英 / 数 / カナで入力してください。最大15文字まで表示できます。(スクロール時)
ISO 9660 アップル拡張	

ファイル/フォルダ数の制限
フォルダの階層数 : 最大8階層
最大ファイル/フォルダ数 : 254 (ファイル数 + フォルダ数、ルートフォルダを含まず)
ファイルとフォルダの合計数が254を超えた場合は、正常に再生できません。

お知らせ
再生できないファイルは「E4」と表示されます。
MP3エンコーダソフト、ライティングソフトは付属されておりません。
著作権について
音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権利権者の許諾を得ないでディスクに複製(録音)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

チェンジャーでCD/MDを聞く

準備 CDチェンジャーやMDチェンジャーを接続し、マガジン(ディスク)を入れてください。(※42ページ)

CD-RWには対応していません。CD-Rには対応していますが、ディスクによっては正常に再生できない場合もあります。

1 SRC を押して、**チェンジャーモードにする**

「NO DISC」と表示されたときは...ディスクを入れてください。

2 P-SET/DISC を押して、**ディスクを選び**

3 TRACK を押して、**曲を選ぶ**

早送り/早戻しするには
0.5秒以上押し続ける
押ししている間、早送り/早戻しされます。

チェンジャーが接続されているとき
ディスク番号 曲番号
ツインチェンジャーのとき
(1または2:チェンジャー番号)

お知らせ
チェンジャーモードでは、再生を一時停止できません。電源が切れているときにマガジン(ディスク)を入れると、電源が入り、再生が始まります。チェンジャーモード中にマガジン(ディスク)を取り出すと、電源が切れます。

チェンジャーを2台使う場合は(ツインチェンジャー)

準備 ツインチェンジャーコントロールユニットで、CDチェンジャーやMDチェンジャーを2台接続してください。(※42ページ)

BAND を押して、チェンジャーを切り替える

DISC 001-T01

選択されている方のチェンジャー番号が点灯します。

お知らせ
チェンジャーの中にマガジン(ディスク)が入っていないときは、切り替わりません。

チェンジャーのモード設定

1 チェンジャー再生中に SRC を押す

2 上下で項目を選び、(セット) BAND で決定する

3 上下で切り替える

順不同に聞く(ランダム)	全ての曲	RANDOM	ON OFF
	再生中のディスク	D-RANDOM	ON OFF
繰り返し聞く(リピート)	再生中の曲	REPEAT	ON OFF
	再生中のディスク	D-REPEAT	ON OFF
MDのタイトルをスクロールさせる		SCROLL	ON : スクロールする OFF : 1周スクロールしたあと、静止する 再度スクロールさせるには... タイトル表示中に DISP を2秒以上押す

CDチェンジャーは、タイトルを表示できません。
「タイトル表示について」(※17ページ)をお読みください。

お知らせ
通常モードに戻すには
DISP または # を押す
設定以外の操作は、通常モードに戻してから行ってください。

リモコンダイレクト設定
ランダム・リピートは、リモコンのボタン一つでも操作できます。
通常モードに戻してから行ってください。
RAND / REP を押す
(解除:再度押す)
2秒以上押すと、ディスクのランダム・リピートになります。
(解除:再度2秒以上押す)

リモコンのみの操作

曲を探す(スキャン)	全ての曲	SCAN 5 を押す (解除:再度押す) 1周すると解除され、もとの曲の先頭に戻ります。
	各ディスクの1曲目	SCAN 5 を2秒以上押す(解除:再度2秒以上押す) 1周すると解除され、もとのディスクの先頭に戻ります。

DISC 001-T01

お知らせ
途中で通常モードに戻すには
DISP または # を押す
ダイレクト選択モードにすると、ランダム・リピート・スキャンは解除されます。

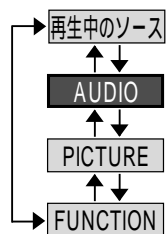
使いかた

いろいろな設定と調整

音質調整 (AUDIO)



1 メニューから設定画面を選び



2 項目を選び

- ① 上下の矢印で選択し、(セット)
- ② BAND ボタンで決定する

SET/APM

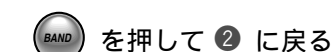
3 設定する

- 上下の矢印で選択・調整する

通常モードに戻すには



設定を続けるには



SET/APM

お知らせ

設定以外の操作は、通常モードに戻してから行ってください。
ラジオ / AUXモードのときは、モード設定のメニューがありません。
右のように表示されますが、音質調整・画面設定・機能設定は行えます。



音質調整

各スピーカーの
低音域の増強のしかたを
切り替える
(スーパー・ハイデフィニションバス)
初期設定：S・HDB OFF

低音域 / 高音域の
音量レベルを調整する
(バス/トレブル)

初期設定：0
調整範囲：-12 dB ~ +12 dB
(2ステップずつ)

左右 / 前後のスピーカーの
音量バランスを調整する
(バランス/フェダー)

初期設定：0 (センター)
調整範囲：各0 ~ 15 (1ステップずつ)

サブウーファースの
音量レベルを調整する

初期設定：0
調整範囲：MUTE, -6 dB ~ +6 dB
(2ステップずつ)

準備 外部アンプ (サブウーファー) を
接続してください。(41ページ)

AUDIO を選び	S・HDB を選び	<p>S・HDB OFF : 低音を増強しない</p> <p>BOOM : 広がりのある低音にする</p> <p>TIGHT : シャープな低音にする</p>	<p>点灯</p>
	(低音域の音量レベル) BASS を選び	<p>「+」: 強調する</p> <p>「-」: 低減する</p>	
	(高音域の音量レベル) TREBLE を選び	<p>「+」: 強調する</p> <p>「-」: 低減する</p>	
	(左右のバランス) BALANCE を選び	<p>「R」(Right) : 右側を強調する</p> <p>「L」(Left) : 左側を強調する</p>	
	(前後のバランス) FADER を選び	<p>「F」(Front) : 前方を強調する</p> <p>「R」(Rear) : 後方を強調する</p>	
	SUB-W を選び	<p>「+」 : 上げる</p> <p>「-」 : 下げる</p> <p>「MUTE」: サブウーファー出力に接続したアンプから音がなくなる</p>	

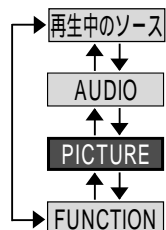
使
い
か
た

いろいろな設定と調整

画面設定 (PICTURE)



1 メニューから設定画面を選び



2 項目を選び

- ① 上下の矢印で選択し、(セット)
- ② BAND ボタンで決定する

3 設定する

- 上下の矢印で選択・調整する

通常モードに戻すには

DISP または BAND ボタンを押す

設定を続けるには

BAND ボタンを押して ② に戻る



画面設定

表示 (バックライト) の明るさを選ぶ (ディマー設定)

初期設定 : DIMMER 3
設定範囲 : 1 ~ 3 (3段階)

DIMMER
を選び

- 3 : 明るい
- 2 : 中間の明るさ
- 1 : 暗い



スペアナ表示のパターンを選ぶ (スペアナパターン)

初期設定 : A
調整範囲 : 6種類 (OFFを含む)

S・A
を選び

1 : ノーマル7バンド



2 : ピーク7バンド



3 : ノーマル13バンド



4 : レベルメータ&時計



5 : ランダムスペアナ



OFF : スペアナ表示なし



表示のめりはりを調整する (コントラスト調整)

初期設定 : 3
調整範囲 : 1 ~ 5 (5段階)

CONTRAST
を選び

取り付け位置や角度に応じて、表示が見やすくなるように調整してください。

コントラスト

- 1 2 3 4 5
- 大 小

数字が小さくなるほど、明暗の差が大きくなります。



表示の点灯 / 消灯を選ぶ

初期設定 : ON

DISPLAY
を選び

ON : 点灯する

OFF : 消灯する → ボタン操作をすると、約5秒間だけ表示が点灯します。



お願い

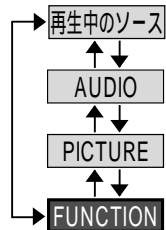
通常はONのままご使用ください。

いろいろな設定と調整

機能設定 (FUNCTION)



1 メニューから設定画面を選び



2 項目を選び

- ① ▲ ▼ で選択し、
(セット) BAND で決定する
- ② BAND (セット) で決定する

3 設定する

▲ ▼ で選択・調整する

通常モードに戻すには

DISP または DISP を押す

設定を続けるには

BAND を押して ② に戻る



機能設定

MUTEボタンを押したときの音量の上がりかたを選ぶ
(ミュート/アッテネータ設定)
初期設定：MUTE

音声案内中の本機の音量(ミュートレベル)を設定する
(ナビミュートレベル設定)
初期設定：LV 0

準備 ナビミュートコードを接続してください。(43ページ)

ボタンを押したときの音(ビープ音)を出す/出さない選ぶ
(ビープ音設定)
初期設定：ON

セキュリティ機能を使用する/しないを選ぶ
(セキュリティ設定)
初期設定：ON

FUNCTION
を選び

MUTE KEY
を選び

MUTE : 0 (無音)になる MUTE
ATT : 音量が10ステップ下がる ATT



EXT.MUTE
を選び

LV 0 : 本機の音量が、0 (無音)になる
LV 1 : 本機の音量が、15ステップ下がる
LV 2 : 本機の音量が、10ステップ下がる
OFF : 通常の音量のまま 音量調整可



音声案内時には、設定値が表示されます。(設定OFF除く)



設定値

BEEP SET
を選び

ON : ビープ音を出す
OFF : ビープ音を出さない



お知らせ

ビープ音は、本体内蔵のブザーから出ます。

SECURITY
を選び

ON : セキュリティ機能を使用する
OFF : セキュリティ機能を使用しない



セキュリティ機能 (30ページ)

使いかた

パネルの脱着のしかた

デタッチャブルフェイス

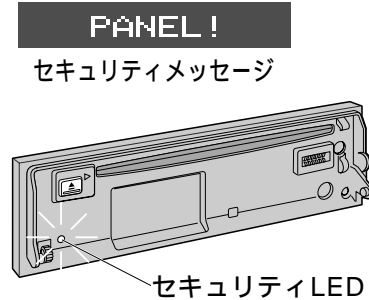
車から離れるときにパネルを取りはずすと、ユニットの盗難を防ぐことができます。

パネルを取りはずしたままでは電源が入らず、操作できません。

セキュリティ機能をONにしておくと... (P.28ページ)

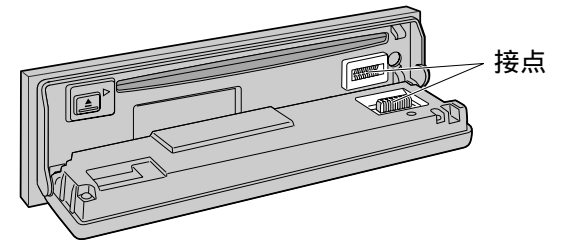
ACC (アクセサリ電源) をOFFにしたときにセキュリティメッセージが表示され、パネル取り忘れ防止アラーム音が鳴ります。

パネルを取りはずしたときに盗難防止用のセキュリティLEDが点滅します。



お願い

パネルは防水されていません。故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。気温が上がるダッシュボードやその周辺に、パネルを置かないでください。本体とパネルの接点には触らないでください。電气的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。取りはずしたパネルは、破損しないようにお取り扱いください。(衝撃を与える、落とすなどしないでください。)



取りはずしかた

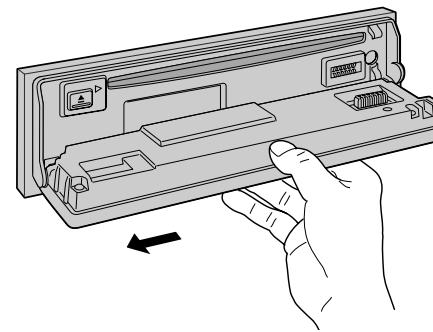


1 電源を切る

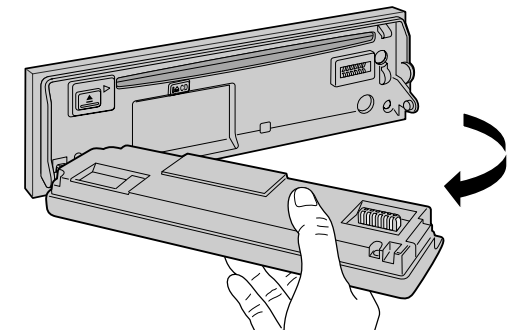
を1秒以上押す

2 パネルを開く

本体の を押す

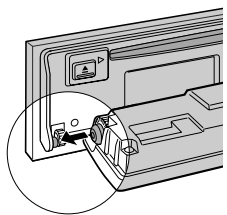


3 左に押しながら、

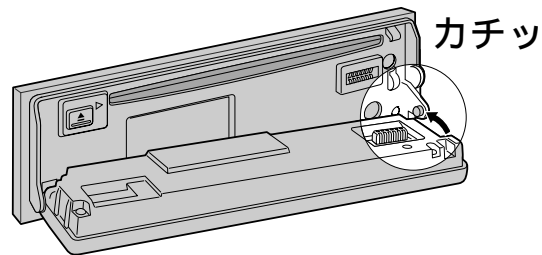


4 手前に引く

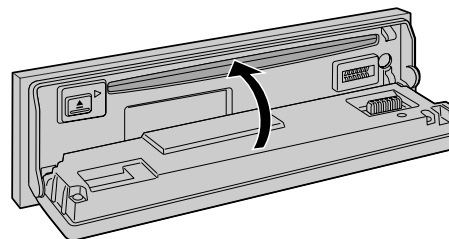
取り付けかた



1 パネルの左端を本体に差し込む



2 左に押しながら、パネルの右端を本体にはめる



3 パネルを閉める

ディスクの取り扱いについて お手入れのしかた

CD (コンパクトディスク)



のマークがついているものを、
ご使用ください。

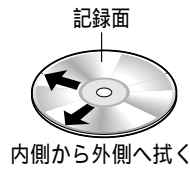
持ちかた

ディスクのセンターホール
と外周部分を持ちます。



CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で
拭いたあと、乾いた布で
拭いてください。



⚠ 注意

特殊形状のCDやCDアクセサリは
使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状のCD
や、プロテクトフィルム・スタビライ
ザーなどのCDアクセサリを使用
すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けた
CDは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原
因になることがあります。特に、市販
のプリンターで作成したラベルなどを
貼り付けたCD-R/RWは、使用しない
でください。

お知らせ

データを読み取って再生が始まるまでに、時間
がかかる場合があります。
(読み取り中は「READING」と表示されます。)

取り扱いのお願い

CDそのものの破損、および機器の故障の原因になる
ことがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CDが回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電
防止剤で拭かない
- CDを曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

CD-R/RWディスクのご使用について

再生可能なCD-R/RWディスクは、通常の音楽CD
の形式(CD-DA)、またはMP3で記録したディスク
に限ります。

CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録した
CD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・
キズなどにより、再生できない場合があります。

CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べて高温
多湿環境に弱いいため、長時間の車内環境において
劣化し、再生できない場合があります。

CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディ
スクの使用上の注意書きをよくお読みください。

クローズセッションされていないCD-R/RWディ
スクは再生できません。

ビデオCDなど(CD-DA, MP3以外のデータ)は、
再生できません。

本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

ディスクの保管について

長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。
ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避け
るため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ(車のシート、
ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のあるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

故障かな!?

症状	原因・処置	ページ
電源・共通		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可)各コードの接続を確かめてください。 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換を依頼してください。	12 40~43 -
音が出ない	音量を上げてください。 ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。 結露している。しばらく放置してからご使用ください。 各コードの接続を確かめてください。	12 12 37 40~43
音声のみで、表示が出ない	表示が「OFF」(消灯)になっている。 「ON」(点灯)に切り替えてください。	26
ボタンを押しても、各ソースの操作ができない	各種設定画面が表示されている。 通常モードに戻してから操作してください。	-
雑音が出る	携帯電話などを本機から離してください。	8
音は出ているが、デモストレーションが表示される。	デモストレーションを解除してください。	12
ラジオ		
FMステレオ放送、モノラル放送とも、ノイズが多い	ラジオアンテナが十分に伸びているか、確かめてください。 放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。 アンテナコントロールコードの接続を確かめてください。	- 14 40
CD		
ディスクを入れても音が出ない(再生できない)	ディスクを正しい面に入れなおしてください。 音楽用の(録音されている)ディスクをご使用ください。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく再生されない場合があります。	16 32 -
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 本機の取り付けを確かめてください。 角度を30°以内に調整し、振動ないようにしっかり取り付けてください。	32 38
CDテキストが正しく表示されない	ディスクの汚れをクリーニングしてください。	32
再生時間は表示されているが、音が出ない	ミックスモードのディスクの第1トラックを再生した。 (ミックスモードとは、第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマットです。) 第2トラック以降の音楽データを再生してください。	-

症状	原因・処置	ページ
MP3		
ディスクを入れても音が出ない(再生できない)	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく再生されない場合があります。 MP3ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。 ディスクを正しい面に入れなおしてください。	21 21 18
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 本機の取り付けを確かめてください。 角度を30°以内に調整し、振動ないようにしっかり取り付けてください。 音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくはエンコーダソフトの説明書をご覧ください。 低速で、再度データを書き込んでください。	32 38 21 -
フォルダ名/ファイル名が正しく表示されない	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく表示されない場合があります。	21
再生経過時間の表示が実際と一致していない	再生中に早送り/早戻しをした、または車のイグニッションスイッチを「OFF」にした。 他のファイルを再生すると、正常に戻ります。 可変ビットレート(VBR)で記録されたMP3ファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。 バージョン2以降のID3Tag情報を含むMP3ファイルは、再生経過時間の表示が不安定になることがあります。	18
再生するまで時間がかかる	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ファイルのチェックに時間がかかる場合があるので、MP3以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	21
順番どおりに再生されない	再生させたい順番どおりに、書き込まれていない。 ファイル名の頭に「01」~「99」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	21

故障かな!?

症状	原因・処置	ページ
音質設定		
前後左右いずれかの音が出ない	前後左右の音量レベルを調整してください。 各コードの接続を確かめてください。	24 40~43
外部アンプから音が出ない	各コードの接続を確かめてください。 サブウーファーの音量レベルが「MUTE」に設定されている。 「MUTE」以外にしてください。	40~43 24
ステレオのとき、左右の音が逆になる	スピーカーコードの接続を確かめてください。	40~41
リモコン		
ボタンを押しても動作しない	⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れてください。 電池が消耗している。交換してください。 リモコン受光部に向けて操作してください。	9 9 10

こんな表示が出たときは

表示例	原因・処置
<p>CD / MP3</p>	<p>E1 / E2エラーのとき ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズがついている。 ディスクを取り出して、確かめてください。</p> <p>E3エラーのとき 何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。 正常に戻らない場合は お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」 (別紙) に修理を依頼してください。</p> <p>再生しようとしたデータが、何らかの原因で読み込めない。(本機が対応していないフォーマット、圧縮方式、データ形式などで記録されている、データが破損しているなど) 読み取れるファイルを選んで、再生してください。 データを確認し、ファイルを作りなおしてください。 選択したフォルダにMP3ファイルがない(ダイレクト選択時) MP3 ファイルがあるフォルダを選んでください。 フォルダとファイルの合計数が254個を越えている。 フォルダ数・ファイル数を減らしてください。</p>

表示例	原因・処置
<p>チェンジャー</p> <p>例) CDチェンジャー</p> <p>電源が切れる</p>	<p>自動的に次のディスクへ切り替わります。 ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズがついている。 再生できないディスク (CD-RW、一部のCD-Rなど) を使用している。 ディスクを取り出して、確かめてください。</p> <p>何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。 チェンジャーのイジェクトボタンを押しても正常に戻らない場合は チェンジャーのリセットスイッチを押してください。それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙) に修理を依頼してください。</p> <p>チェンジャー (マガジン) にディスクが入っていない。 ディスクを入れてください。</p>

こんなときは故障ではありません

結露について

雨の日やヒーターを入れた直後に再生すると、本機内部 (CDプレーヤー) の光学系のレンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して1時間ほど放置し、自然に露がとれるのを待ちください。CDに付いた露は、柔らかい布で拭いてください。

万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙) に修理を依頼してください。
お客様による修理は、絶対におやめください。

配線・取り付けの前に

取り付けかた

警告

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線関係

品名	個数
電源コード	1

取り付け関係

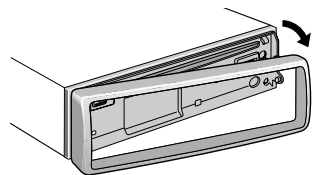
品名	個数
特殊座付きねじ (5 × 8 mm)	4
特殊皿ねじ (5 × 8 mm)	4
スペーサー	2
両面テープ	2

配線・取り付け作業前の準備

輸送用の保護枠は使用しません。取りはずしてからご使用ください。

① パネルをはずす

② 保護枠をはずす



③ パネルを取り付ける

パネルのはずしかた / 取り付けかたについては「パネル脱着のしかた」(P.30)をお読みください。

注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



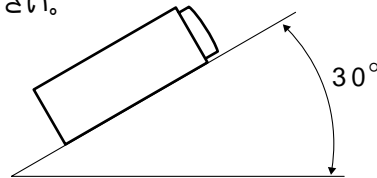
配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

取り付け部の寸法・角度の確認

車種(ダッシュボードの形状や寸法)によって、取り付けられない場合やシフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。

オーディオスペースがDINサイズ(横180 mm、縦50 mm)、または2DINサイズ(横180 mm、縦100 mm)でない場合には、販売店に相談してください。

水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



作業の順序

① バッテリーの⊖端子をはずす

② 配線する (P.40~43ページ)

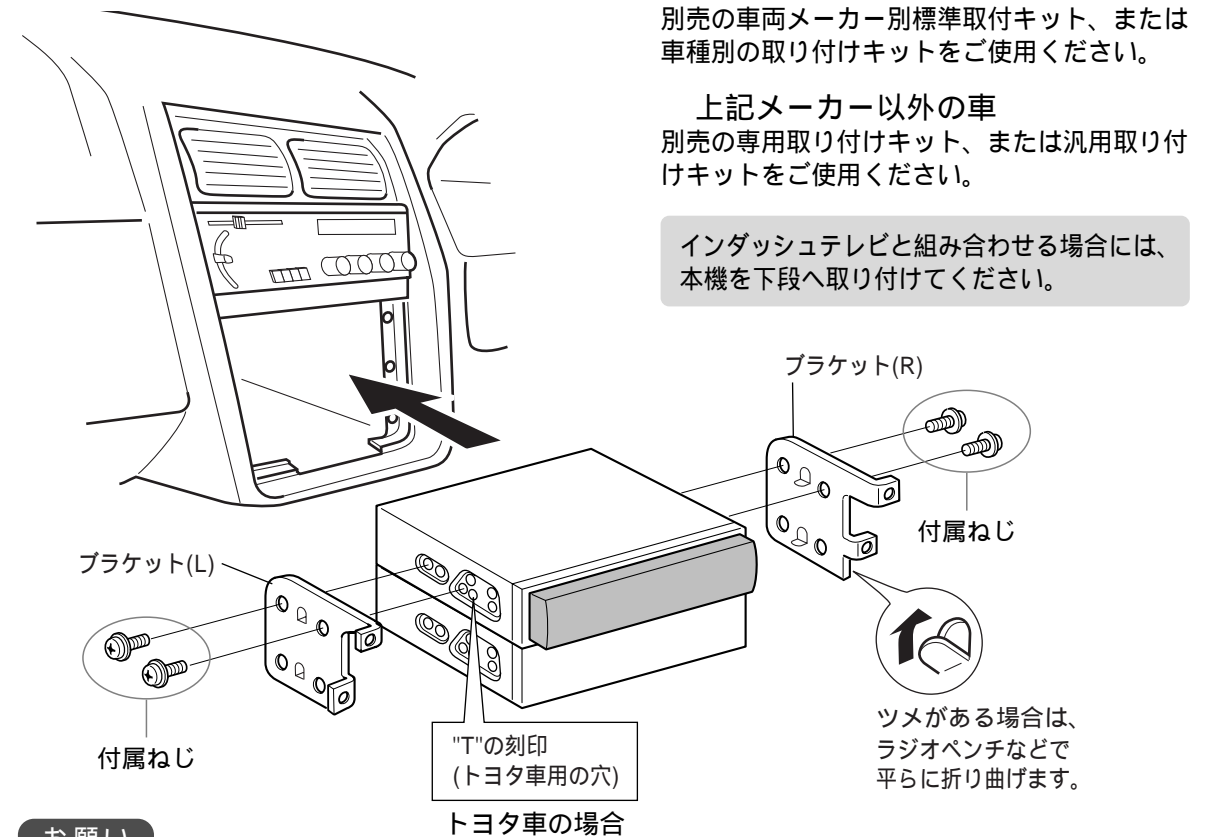
他の機器と接続する場合には、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

③ 取り付ける (P.39ページ)

④ バッテリーの⊖端子を、もとに戻す

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店に相談してください。



トヨタ車(DINサイズ採用車)
純正のカーステレオを固定していたブラケットをご使用ください。

日産・本田・三菱車(DINサイズ採用車)
別売の車両メーカー別標準取付キット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。

上記メーカー以外の車
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

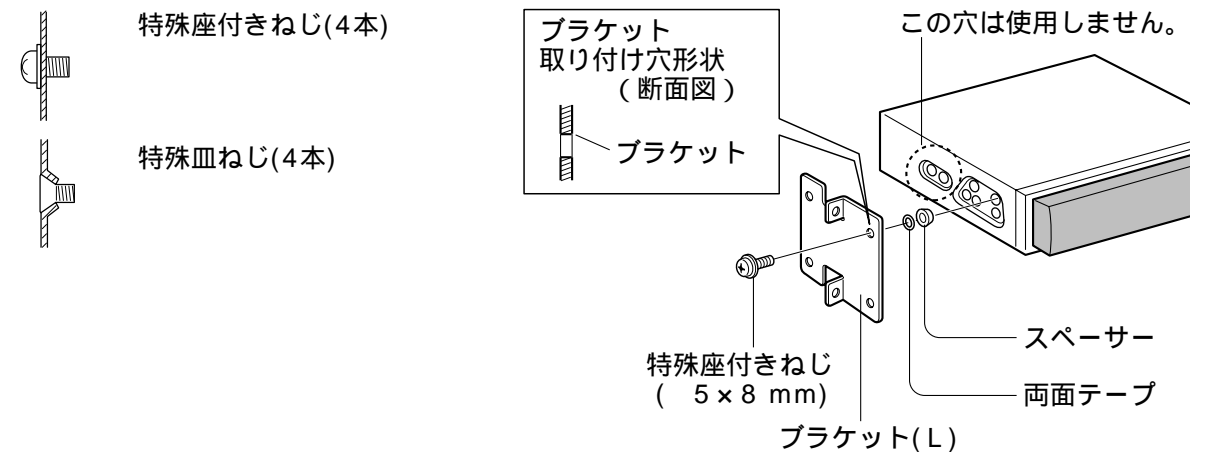
インダッシュテレビと組み合わせる場合には、本機を下段へ取り付けてください。

お願い

必ず付属ねじをご使用ください。

付属ねじは、取り付け金具(ブラケット)の穴形状に合わせて選んでください。

ブラケットが不安定な場合にはスペーサーで取り付けを補強し、固定してください。



必要なときに

配線のしかた

基本配線（付属コードの接続）

ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

お知らせ

別売のコネクター付コード（車両メーカー別）をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店に相談してください。

パナソニックナビゲーションのナビミュートコードへ（※43ページ）

接続しないときは、ビニールテープなどで絶縁してください。

車のアンテナコントロールコードへ

直接オートアンテナを駆動させる電源に接続しないでください。

ツインチェンジャーコントロールユニットへ（※42ページ）

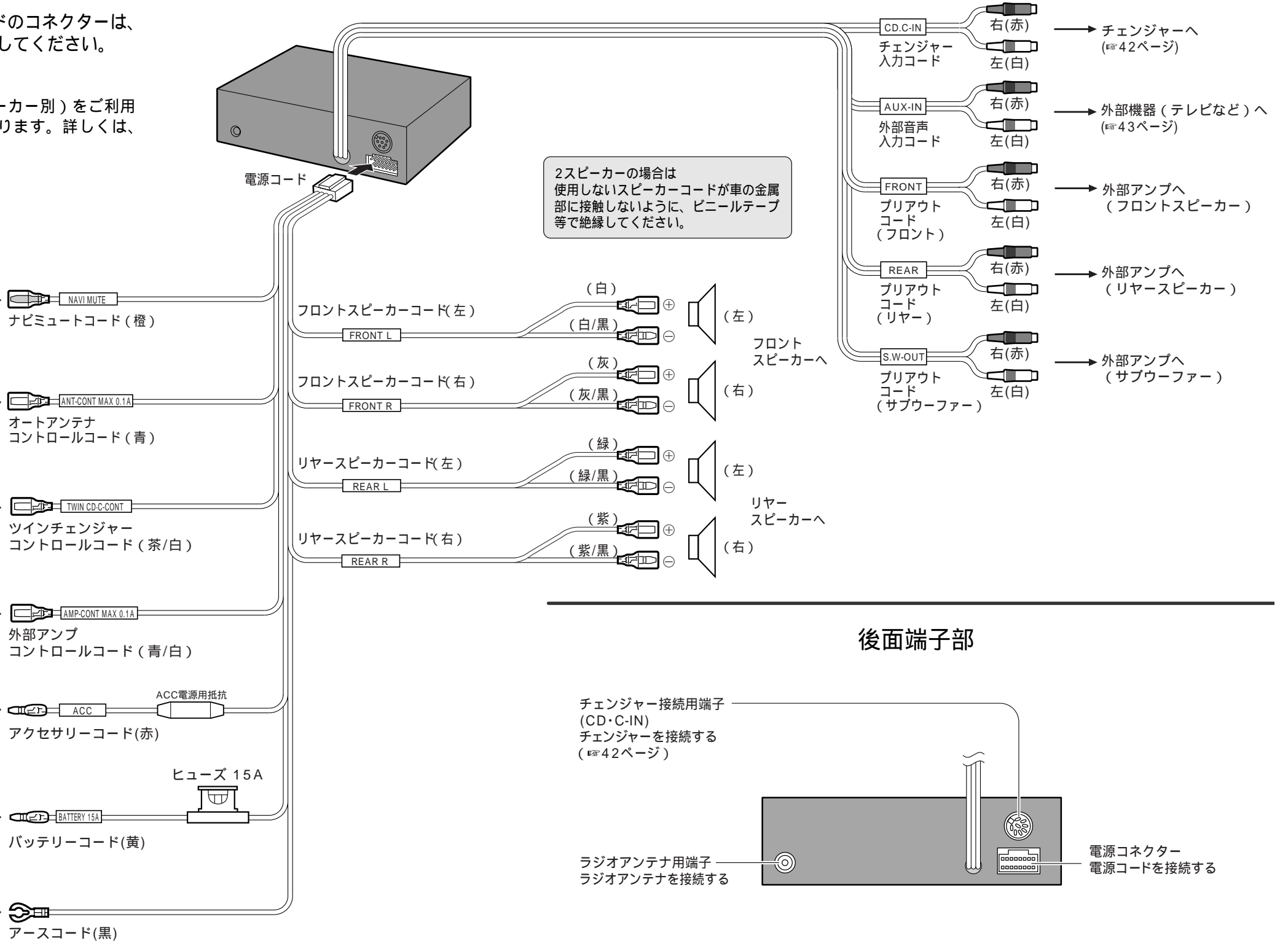
外部アンプのアンプコントロールコードへ

車のACC電源へ
エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、販売店へご相談ください。

車のバッテリーへ

常時電源が供給されている端子へ接続してください。

車の金属部へ



後面端子部

必要なときに

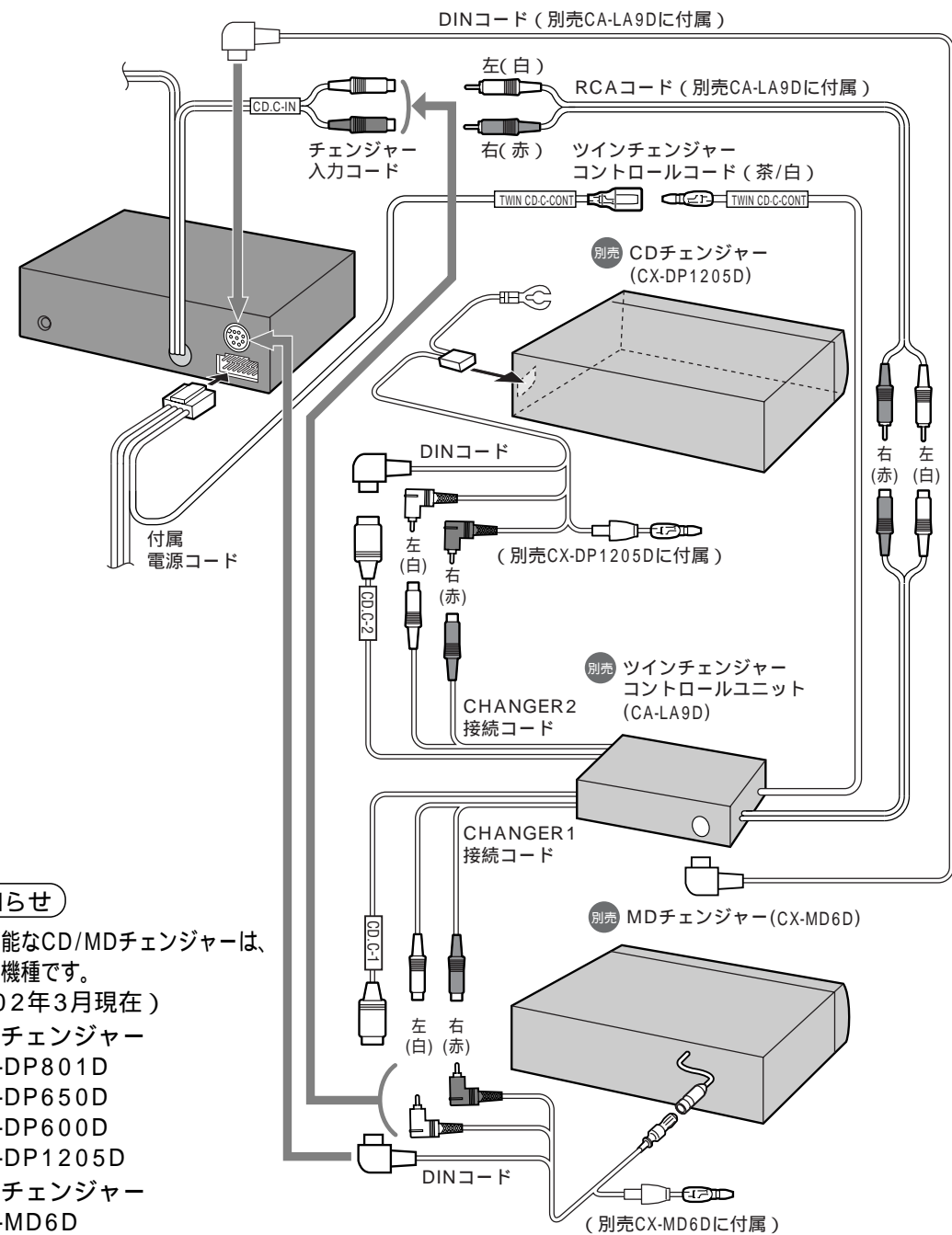
配線のしかた

チェンジャーを接続する

接続する各機器の説明書も、併せてご覧ください。

例) CDチェンジャー (CX-DP1205D)、MDチェンジャー (CX-MD6D)

2台接続する場合には、別売のツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) が必要です。
1台の場合は、太線 (→) のように接続してください。(例: MDチェンジャー)



お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。

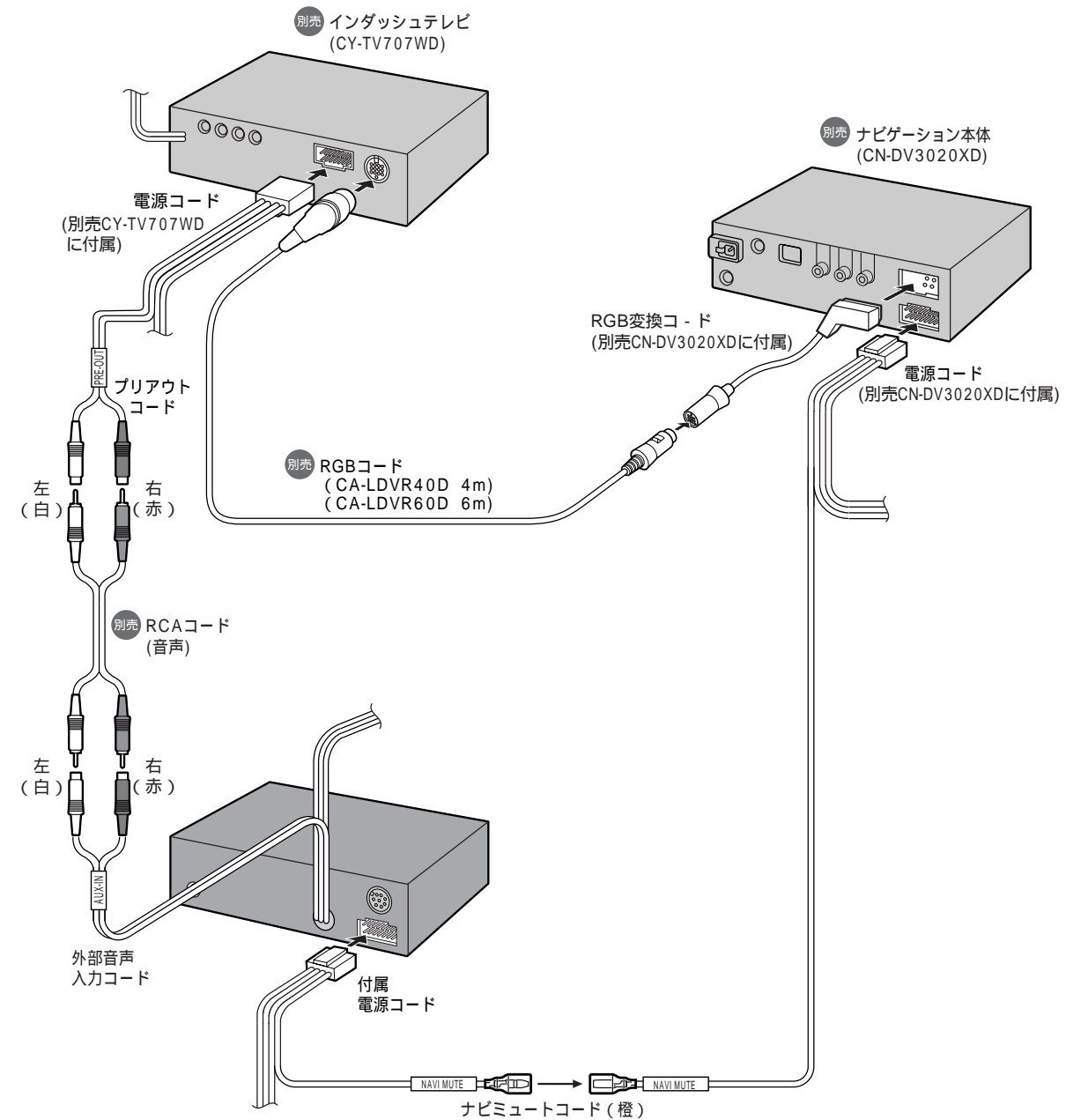
(2002年3月現在)

- CDチェンジャー
- CX-DP801D
- CX-DP650D
- CX-DP600D
- CX-DP1205D
- MDチェンジャー
- CX-MD6D

ナビゲーション、インダッシュテレビを接続する

接続する各機器の説明書も、併せてご覧ください。

例) DVDカーナビゲーションシステム (CN-DV3020XD)、インダッシュテレビ (CY-TV707WD)



仕様

アフターサービスについて

共通部

電源電圧	: DC12 V (11 V - 16 V) ⊖アース (試験電圧14.4 V)
消費電流	: 2.2 A (CD動作定格出力時)
定格出力	: 22 W x 4 CH (1 kHz, 1 %, 4)
最大出力	: 50 W x 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4
音声入力インピーダンス	: 10 k (AUX IN)
音声入力感度	: 2 Vrms (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 2.5 Vrms (CD)
プリアウト出力インピーダンス	: 200
外形寸法 / 質量	: 幅178 x 高さ50 x 奥行き150 (mm) / 1.7 kg

FMチューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度 (S/N 30 dB)	: 12 dBf
S/N比 (MONO)	: 70 dB
ステレオ分離度	: 35 dB
実効選択度 (±400 kHz)	: 90 dB

AMチューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	: 29 dB/μV
イメージ妨害比	: 45 dB

CDプレーヤー部

チャンネル数	: 2チャンネル
複号化	: 16ビット直線
周波数特性	: 20 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 96 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下
MP3デコーダー	: MPEG-1 Audio Layer 3 / MPEG-2 Audio Layer 3
ビットレート	MPEG-1 : 32 kbps ~ 256 kbps、VBR MPEG-2 : 16 kbps ~ 160 kbps、VBR
サンプリング周波数	MPEG-1 : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz MPEG-2 : 22.05 kHz、24 kHz

「NAVI」「ナビ」は登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのもと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」(別紙)へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」(別紙)へ

その他のお問い合わせは...
「お客様相談センター」へ

お客様相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-50-8729** コーパナソニック

FAX **045-939-1939**

受付 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

便利メモ（おぼえとして、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-DFX572D
販売店名	☎ ()	-	
お客様 ご相談窓口	☎ ()	-	

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステムビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

YEFM283838 ND0102-0